



今月の話題

- 読者の皆様へ
- 政策研究院大学での防災政策に関する講義
- 2022-2023 研修生の修士論文シノプシスをIISEE ホームページに公開
- 井上公氏による IISEE セミナー開催のご案内(2月7日、2月8日)
- Bruno ADRIANO 氏による IISEE セミナー開催のご案内(2月20日、2月22日)
- エルサルバドル元研修生の IISEE 訪問
- 帰国研修員の活躍事例
- 建築・住宅地震防災国際ネットワークプロジェクト (IPRED) 2023 年度出席

読者の皆様へ

国際地震工学センター

2023年も終わろうとしております。皆様、そしてご家族におかれましてはいかがお過ごしでいらっしゃいますでしょうか。

さて、コロナ禍により当センターで行っている研修についてもリモートでの開催を余儀なくされた期間もございましたが、2022-2023地震工学通年研修では対面での研修を1年間無事に行うことができました。

現在、2023-2024通年研修については8カ国から13名の研修生を受け入れ、研修を進めております。

また、短期のグローバル地震観測研修については、6カ国から9名の研修生が研修に参加することとなり、年明けの1月9日に開講すべく準備をすすめているところです。

このように研修参加者からの熱意に応えるべく研修を継続して実施できているのも、多くの方々のご支援とご理解があつてこそ、と強く実感しております。ここに改めて御礼申し上げます。

また、かつて当センターで学ばれた皆様、このニュースレターはIISEEと卒業生の懸け橋となることをめざしています。例えば研究のことなど、ささいなことでも投稿いただければ幸いです。

新年についても本年同様のご支援をよろしくお願い致します。

質問やリクエストについては、iisee@kenken.go.jp にお送りください。



政策研究大学院大学での防災政策に関する講義

国際地震工学センター

当センターで実施している地震工学通年研修においては、政策研究大学院大学(GRIPS)と連携していることから、修士号を取得することも可能です。

修士号 (Master of Disaster Management)取得を目指している研修生は、11月1日(水)から11月15日(水)まで、GRIPSが実施する防災政策に関する集中講義を受講しました。

この集中講義においては、GRIPSの教授等や外部の先生から、建築、都市、インフラ等に関する防災政策、これまでの災害による被害や復旧・復興等に関する講義が行われました。また、東京都内の中野地区及び八重洲地区において、市街地再開発プロジェクトや防災対策の取り組みを現地視察しました。さらに、研修生により、自国の災害、防災政策、自らの防災との関わりについて、プレゼンテーションとディスカッションが行われ、IISEE、ICHARMなどの研修生が各国の防災に関する知見を深め合う機会となりました。

つくばでは筑波嵐と呼ばれる北風が冷たい季節となりました。しばらくの間は寒い日が続くと思いますが、冬至を過ぎますと新しい年はすぐです。研修生のみなさんには、年末年始の日本のイベントやカルチャーにふれてみるなど、気分転換しながら寒い冬を乗り越えてもらいたいと思います。

政策研究大学院大学ホームページ: <https://www.grips.ac.jp/>

研修データベース

シノプシス・データベース(修士論文概要)

Bulletin データベース

Eラーニング

IISENET(地震防災技術情報ネット)

IISEE-UNESCO レクチャーノート

2022-2023 研修生の修士論文シノプシスを IISEE ホームページに公開

国際地震工学センター

先日 2022-2023 通年研修の研修生 14 名全員が修士号を取得しました。修士論文の概要がわかるシノプシスを IISEE ホームページに公開いたしました。

こちらの URL からご覧いただけます。

シノプシス:<https://iisee.kenken.go.jp/syndb/?action=list>

また 2022-2023 研修生の修士論文のアブストラクト集も掲載しておりますので、そちらも是非お役立ていただけましたら幸いです。

アブストラクト集:<https://iisee.kenken.go.jp/jp/information/syndb/>

地震学コース

1. コモロ周辺のローカル地震の震源位置とマグニチュードの決定

(<https://iisee.kenken.go.jp/syndb/?action=abstr&id=MEE22703&est=S&year=2023>)

地震データベース

地震情報

宇津カタログ(世界の地震被害)

地震カタログ(世界の大地震の震源メカニズム、余震分布等)

2. 広帯域雑微動記録(周期 5-50 秒)を用いたエジプト北部地域の地殻構造の推定

(<https://iisee.kenken.go.jp/syndb/?action=abstr&id=MEE22701&est=S&year=2023>)

3. エジプトにおける大地震の地震動シミュレーション

(<https://iisee.kenken.go.jp/syndb/?action=abstr&id=MEE22702&est=S&year=2023>)

4. 機械学習を用いた地震位相検知: 2019 年 10 月コタバト地震と 2019 年 12 月ダバオ・デル・スール地震の本震・余震活動に関する時空間的変化の把握

(<https://iisee.kenken.go.jp/syndb/?action=abstr&id=MEE22704&est=S&year=2023>)

地震工学コース

5. 新旧インドの耐震基準で設計されたブータンにおける一般的な RC 造住宅建築物の耐震性能の比較に関する研究

(<https://iisee.kenken.go.jp/syndb/?action=abstr&id=MEE22709&est=E&year=2023>)

6. インドネシアにおける非免震/免震建築物の被害率曲線に関する研究

(<https://iisee.kenken.go.jp/syndb/?action=abstr&id=MEE22705&est=E&year=2023>)

7. 地盤種別を考慮したプレキャストコンクリート造建築物の耐震性能評価に関する検討

(<https://iisee.kenken.go.jp/syndb/?action=abstr&id=MEE22706&est=E&year=2023>)

8. マレーシアにおける RC 骨組とプレキャスト壁のハイブリッド構造の耐震性能評価

(<https://iisee.kenken.go.jp/syndb/?action=abstr&id=MEE22707&est=E&year=2023>)

9. プレキャスト RC 造柱梁接合部の耐震性能評価

(<https://iisee.kenken.go.jp/syndb/?action=abstr&id=MEE22708&est=E&year=2023>)

津波防災コース

10. エジプトの津波早期警報システムのための迅速な震源パラメータ決定

(<https://iisee.kenken.go.jp/syndb/?action=abstr&id=MEE22711&est=T&year=2023>)

11. 津波データベースを用いたフィジーにおける津波早期警報システムの向上

(<https://iisee.kenken.go.jp/syndb/?action=abstr&id=MEE22712&est=T&year=2023>)

12. シナリオ地震に基づくフィジーにおける津波伝播と浸水シミュレーション

(<https://iisee.kenken.go.jp/syndb/?action=abstr&id=MEE22713&est=T&year=2023>)

13. 津波早期警報システムのための津波発生震源パラメータの即時決定とリアルタイム浸水モデリング

(<https://iisee.kenken.go.jp/syndb/?action=abstr&id=MEE22710&est=T&year=2023>)

14. インドネシア、メンタワイ諸島のリアルタイム津波浸水予測
(<https://iisee.kenken.go.jp/syndb/?action=abstr&id=MEE22714&est=T&year=2023>)

井上公氏による IISEE セミナー開催のご案内(2月7日、2月8日)

国際地震工学センター 上席研究員 原 辰彦

防災科学技術研究所の井上公氏によるIISEEセミナーを以下の通り開催いたします。ぜひご参加ください。

<日時>

時差を考慮して2回開催します。内容は同じです。

第1回 2月7日(水) 15:45-16:45 (日本時間)

第2回 2月8日(木) 09:00-10:00 (日本時間)

<開催形式>

Zoomミーティングによるオンライン形式

(2月7日(水)は国際地震工学センターのスタッフ、研修生が対面で参加します)

<講師>

井上公氏

防災科学技術研究所 客員研究員

建築研究所国際地震工学センター 特別客員研究員

<発表タイトル>

私が携わった地震観測プロジェクト:そのチャレンジと未来

<要旨>

私は長いキャリアの中で日本を含む世界各国の地震観測プロジェクトに携わってきました。

最近の10年ではトンガ、インドネシア、ブータン、フィリピンの地震観測網が挙げられます。これらのプロジェクトを紹介し、それらの目的や役目について、さらに地震観測の将来の方向を議論します。

<参加登録>

以下の応募フォームからご登録ください。後日Zoomの参加URLとパスワードをお送りいたします。参加URLとパスワードの共有はお控えください。



2月7日(水)

URL:<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=B-gjEILwqEiJBNEJd5eBS6Gp8JP6WqhNkMPPKY2Ct6hUNTFRNkY4TEtOVU43S0w4NINPNzQ1MzNLNS4u>

締切:2月6日(火) 12:00 (日本時間)

2月8日(木)

URL:<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=B-gjEILwqEiJBNEJd5eBS6Gp8JP6WqhNkMPPKY2Ct6hUMFFYQIdPSUZCUUIUTkdDME1JMDMwSjFDUy4u>

締切:2月7日(水) 12:00 (日本時間)



楽しむのは今です

Bruno ADRIANO 氏による IISEE セミナー開催のご案内(2月20日、2月22日)

国際地震工学センター

東北大学災害科学国際研究所のBruno ADRIANO氏によるIISEEセミナーを以下の通り開催いたします。ぜひご参加ください。

<日時>

時差を考慮して2回開催します。内容は同じです。

第1回 2月20日(火) 15:45-16:45 (日本時間)

第2回 2月22日(木) 09:00-10:00 (日本時間)

<開催形式>

Zoomミーティングによるオンライン形式

<講師>

Bruno ADRIANO氏

准教授、東北大学災害科学国際研究所 災害ジオインフォマティクス研究分野

<発表タイトル>

Application of Remote Sensing and Machine Learning Technologies for Disaster Response

連絡先

IISEE ニュースレターは、IISEE と卒業生の架け橋を目指しています。

ニュースレターへの報告や記事をお待ちしております。皆様の自国でのご活躍をお知らせ下さい。

また、皆様の同僚やお友達もこのメーリングリストに登録するようにお誘い下さい。

iiseenews@kenken.go.jp
<https://iisee.kenken.go.jp/jp/>

<要旨>

An accurate and prompt understanding of the full extent of disaster aftermath is vital for effective emergency response and relief activities. Immediately after a disaster, affected areas become isolated and dangerous for field surveys. Thus, effectively using remote sensing data will allow us to grasp the extent of the damage quickly. This lecture will show the basics of applying machine learning to understand remote sensing images in disaster response scenarios, focusing on tsunami and earthquake-induced damage.

エルサルバドル HOKYO プロジェクト研修一帰国研修員2名が来所

国際地震工学センター

2023年11月15日及び16日の2日間にわたり、JICA「エルサルバドル首都圏建物の耐震評価と耐震補強のための能力強化プロジェクト（通称：HOKYOプロジェクト）」の本邦研修の一環として、エルサルバドルから国際地震工学研修の帰国研修生2名を含む10名の研修生が建築研究所に来所されました。

構造研究グループおよび国際地震工学センター（IISEE）の研究者が講義、見学案内、議論を行いました。IISEEの大塚研究員は、耐震改修とDBに基づく組積造建物の耐震性評価の講義を行いました。

また、実験施設の見学や、2日目の最後にプロジェクトに関する議論も行いました。

帰国研修員のSusanさん（2020－2021年度地震工学コース）が、HOKYOプロジェクトで活躍されている様子が印象的でした。



帰国研修員の活躍事例

ゴンサロ・フェルナンデス（2013 グローバルコース）

英語版の記事をご参照いただけますと幸いです。

<https://iisee.kenken.go.jp/en/newsletter/newsletter-219/index.html>

建築・住宅地震防災国際ネットワークプロジェクト (IPRED) 2023年度出席

国際地震工学センター 研究員 大塚悠里

建築・住宅地震防災国際ネットワークプロジェクト (IPRED) 2023年度会合を、日本標準時で9月26日から29日にイスタンブール(トルコ共和国)で開催しました。IPREDとは、UNESCOのプロジェクトで、JICAによるODA事業と国際地震工学研修を通じてIISEEと密接な関係にある10カ国の指導的な研究機関とIISEEにより実施されています。

会合では、日本、アルジェリア、チリ、エジプト、エルサルバドル、インドネシア、カザフスタン、メキシコ、ペルー、ルーマニア、トルコの11カ国が参加し、IPRED活動の現況報告を行いました。また、通常の年次会合に加えて、本年2月6日にトルコ・シリア地震が発生したことを踏まえ、トルコ・シリア地震関連の発表会及び視察が開催されました。日本の代表者^{*1}は、IPREDのアクションプランに従った日本側の活動状況について報告しました。また、日本の代表者^{*2}は、日本で観測された過去の大地震とその被害及びトルコ・シリア地震で観測された地震動との比較に関する成果を報告しました。これらに加えて、トルコ・シリア地震に関する講演会及び被害地域の視察にも参加し、トルコ・シリア地震及びトルコの耐震基準に関する最新の知見を収集しました。IPRED参加国の代表者には、国際地震工学研修の元研修生6名も参加していました。

日本の代表

* 1 小豆畑達哉

建築研究所 構造研究グループ グループ長

* 2 大塚悠里

建築研究所 国際地震工学センター 研究員



写真 IPRED 年次会合参加者

バックナンバーは
下記をご覧ください。

<https://iisee.kenken.go.jp/jp/newsletter/>